

## 観光二次交通の充実（観光地乗り入れ運行の継続）

### 平成22年度 観光二次交通運行

#### ■運行期間 平成22年7月～11月の土日祝日運行

※平成22年度も継続実施し、誘客による観光二次交通の充実を目指す。

#### ■運行ルート

H21年度については、運行当初、周知不足により利用が伸び悩んだが、その後の周知やDCによる効果もあり、旅行代理店が次年度の個人型旅行商品に組み入れる動きも見られるため、平成21年度と同様の運行が望まれている。そのため、運行ルートは継続するものとし、一部に酒造見学・佐渡太鼓体験交流館など新規コースを追加する。

##### ① 本線（金山シャトル）

両津～相川～相川博物館～佐渡版画村～佐渡金山

##### ② 南線（南・飛鳥路）

両津～新穂～畑野～竹田橋～妙宣寺～国分寺

～吉岡～アルコール共和国～歴史伝説館～真野新町～佐和田

##### ③ 七浦海岸線

佐和田～二見～夫婦岩～相川～尖閣湾揚島

##### ④ 小木宿根木線

佐和田～真野新町～歴史伝説館～西三川G P

～羽茂～小木～宿根木～佐渡太鼓体験交流館～沢崎

##### ⑤ トキの森シャトル

両津～椎崎温泉～湯上温泉～トキの森公園

※南線、小木宿根木線については、新規運行区間があるため、協議会承認後、運輸局へ許可申請が必要

#### ■運行ダイヤ

他路線との接続を見直し、乗換えしやすいダイヤ編成することにより、利便性を向上させ、観光客の利用増加を図る。

#### ■各種割引チケットの販売・PR

専用時刻表、各種割引乗車券を作成し、乗車率の向上に努めるとともに、観光施設への誘客の相乗効果も図る。また、大手旅行代理店・佐渡観光協会等の個人型企画旅行商品パンフレットへの情報掲載により、今まで以上の観光客の取組みを図る。

#### 見込まれる改善点

- ・ 新規観光地を追加し、利用客の増加を図る。
- ・ 運行ダイヤの接続を見直すことで、利便性の向上を図る。

# 平成22年度 観光二次交通のルート(案)

## ①本線(両津～相川を延伸) (相川～郷土資料館～奉行所～版画村～金山)

・結節点相川と金山の利便性を向上させ、  
両津・佐和田方面から金山への利便性の向上も図る

## ⑤トキの森シャトル (両津～椎崎温泉～能楽の里 ～潟上温泉～トキの森公園)

・短時間観光ルートとして、これまでなかった両津と「トキの森公園」との間にシャトル便を運行し、両津地区の利便性の向上を図る。また、地元で人気の潟上温泉を経由することで生活交通としての利用促進を図る。

## ③七浦海岸線(佐和田～相川を延伸) (佐和田～七浦～相川～尖閣湾)

・相川エリアの観光地、宿泊地、相互の利便性の向上を図るため、現行の七浦海岸線のルートを変更・延伸し、七浦～尖閣湾を結ぶ。

## アルコール共和国

## ②南線(両津～真野～佐和田)変更ルート

・真野エリアの観光地、妙宣寺等の「飛鳥路」とアルコール共和国、歴史伝説館を現行南線ルートから迂回延伸することで、両津・佐和田からの利便性の向上を図る。

## ④小木線(佐和田～真野～羽茂～小木)宿根木・沢崎延伸ルート

・真野エリアの観光地、歴史伝説館を迂回させることにより南線変更ルートとの結節点を確保し、南部地区人気エリアの宿根木・佐渡太鼓体験交流館・沢崎～小木線を延伸させることにより両津・佐和田(相川)方面との利便性の向上を図る。

